

1950
創業者の中島 一郎が中島謄写堂として謄写版印刷業を開業

1956 有限会社ガリバー印刷を設立

1964 横浜市南区南太田町へ移転

1976
横浜市港北区新吉田町に本社工場を移転株式会社ガリバーに改称
(社名から「印刷」が無くなる)

1980 オフセット輪転機の導入

1986 テレホンカード印刷をはじめ

1989 カタログ、チラシ、テレホンカード全盛期



1991
テレホンカード印刷の技術を応用し
圧着式DMをはじめ

1992
横浜市鶴見区大黒町に
大黒工場を建設

1998
WEBコンテンツ制作をはじめ
CD-ROM制作をはじめ



2000
本社を横浜市鶴見区
大黒町に移転

2005
プライバシーマーク認定取得

2006
ホームページ上で
「総合印刷会社のガリバー」から
「ダイレクトメールのガリバー」に



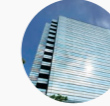
2013
代表取締役の中島 真一が就任

2016
大黒工場を全面リニューアルして
ダイレクトメール専門工場になる

2017
創業者である取締役会長中島 一郎逝去

2018
本社を横浜市神奈川区新浦島町の
GRC 横浜ベイリサーチパーク 17階に移転
完全週休2日制導入

2019
全日本DM大賞入選



2020
自社で生産したDMのQRコード掲載率が80%を超える

2021
FSC®-CoC認証取得
全日本DM大賞銀賞・銅賞受賞

2022
全日本DM大賞銀賞・銅賞受賞・入選

2023
全日本DM大賞銀賞受賞・入選

2024
全日本DM大賞銀賞を2作品受賞

2025
全日本DM大賞グランプリ、金賞、
銀賞、銅賞、審査員特別賞2部門
受賞・入選

5年連続受賞!

ガリバーの印刷方法の変遷

謄写版印刷(ガリ版印刷)

タイプ印刷

オフセット印刷

デジタル印刷

ハイブリッド印刷
(デジタル印刷×オフセット印刷)

1992
同じ郵便料金で2倍の情報量を
届けられる2倍おトクハガキ、……
Z折りおトクハガキ発売

1993
タタメール®発売

1995
ブックメール®,
往復おトクハガキ発売

1996
往復冊子おトクハガキ発売

1997
返信封筒付ブックメール発売

1998
CDinタタメール発売

1999
飛び出すタタメール発売



2000 オリメール®発売

2001
サンプルinタタメール、
飛び出すオリメール発売

2004 カードinタタメール発売

2005
封筒なしで送れるカタメール®,
インデックスオリメール®発売

2006 返信封筒付カタメール発売

2007
インデックスカタメール®,
返信封筒付インデックスカタメール発売

2008 返信封筒付オリメール発売

2009 バタバタメール®発売



2010
ないしょハガキ、デカブックメール
目隠しシール付往復おトクハガキ発売

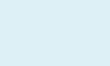
2013
ピングメール、UVエンボスマール® 発売

2014
サンプルinメール® 発売

2016
ひろがるメール®, ひろがるメールインデックス発売

2017
によきと飛び出すオリメール、ポケットギフトメール®
によきと飛び出すポケットギフトメール発売
QRでアナログとデジタルを繋ぐ
One to One log® 発売

2018
オーロラエンボスマール®, スタンドアップメール、
カクニメール®, マルチオリメール発売



2021
スマホでできる抽選券システム開発

2022
デカブックメールをハリコメール®に改称
スマホでめぐるスタンプラリーシステム開発
UVエンボス封筒発売

2023
チケット飛び出すハリコメール発売
両面UVエンボスマール発売

2024
返信封筒付マルチオリメール発売
メタリックメール発売
チケット飛び出すハリコメールを
ポップアップメールに改称
によきと飛び出すオリメールを
によきとメールに改称

2025
カードゲーム ヘビは脛イク発売
カードゲーム 重ねて色をつくるゲーム発売
カードゲーム ゼンゴビンゴ発売
カードゲーム しばりとり発売
カードゲーム インディアンワードショット発売
カードゲーム ○様ゲーム発売
ノリカタメール発売



1950 ガリ版印刷のガリバー

1990 総合印刷のガリバー

2000 ダイレクトメールのガリバー

2010 ダイレクトメール専門家集団のガリバー

2020 ダイレクト
コミュニケーションのガリバー

Gulliver's
NEXT
STAGE
What's
NEXT?

1955 高度経済成長期が始まる

1964 東京オリンピック

1970 日本万国博覧会

1972 札幌オリンピック

1991 小型の携帯電話が登場
バブル崩壊

1994 QRコード誕生
郵便料金が41円から50円、
封書は62円から80円になる

1997 携帯電話の普及率がUP

1998 プライバシーマーク制度が創設
長野オリンピック

2008 iPhoneが日本で発売
(ガリバーは2009年から社用携帯をiPhoneに変更)

2014 郵便料金が52円(封書82円)になる

2017 郵便料金が62円(封書82円)になる
カメラを起動するだけでQRコードから
WEBサイトへアクセスできるようになった

2019 郵便料金が63円(封書84円)になる
新型コロナウイルスが流行し、
対面イベントが軒並み中止

2021 東京オリンピック
インターネット広告がマス4媒体(新聞、テレビ、ラジオ、雑誌)
を追い越し広告費1位の媒体になった

2023 新型コロナウイルスが5類に移行し、
対面イベントが復活

2024 郵便料金が85円(封書110円)になる